

## 推薦状

姜星運君の論文を、第3回UN論文競演大会への提出作として推薦いたします。私は、東京大学で法学部長を務めている者であり、姜星運君は私どもの法学部に4年に在籍している学生であります。

私が知るところ、姜君は、1999年に来日して以来、祖国韓国が抱えている矛盾を克服するため政治家になりたいという初心を失わず、大学での勉強と政治現場での学習の両面に励んで参りました。大学での成績も、言葉の関係から完璧ではないものの、政治学系統の履修を中心に優れたものがあります。

特筆すべきは、日本の各方面における同君の活躍であります。2000年度には日産自動車株式会社が後援するNPOラーニング・フェローに選ばれました。これをきっかけに、3年間、日本において国際的な政治家交流を主導する財団法人、日本国際交流センターでインターンを勤めております。さらに、2003年1月には、日本を主導するリーダーのための専門雑誌「選択」に、日本と北朝鮮の外交に関する独自の見解を述べた同君の論文が掲載されました。大学生の書いた論文が掲載されるのは異例のことであり、これは同君の論文が高い評価を得たことを如実に示しております。また、2003年11月には尾崎行雄杯全国青年演説大会に唯一の外国人として参加し、他大学の日本人代表を制して最優秀賞を受賞いたしました。これは、同君が人の心を動かす説得力に長けていることを強く示しております。

今回貴大会に提出する論文にも、姜君の知的意欲と経験に基づく説得力が強く込められております。北朝鮮の核問題に関する戦略も具体的に論ぜられております。そして、将来、貴国のリーダーとして持つべき必須の資質である知的で柔軟な姿勢が、論文全体にわたって一貫していることが強く印象に残ります。

上記の次第で、姜君の論文を強く推薦するものであります。

2004年8月5日

東京大学法学部長

高橋 宏志

(高橋 宏志)



TRANSLATION

君 , 3  
 , 君 4  
 가 , 1999  
 가가 ,  
 ,  
 가 ,  
 . 2000 , 가 NPO Learning Fellow  
 . 3 , 가  
 (JCIE)  
 Initiative( )」 , 2003 1 , 「The  
 가  
 가 2003 11  
 ,  
 (知的)  
 (知的) 가 가

2004 8 5

高橋宏志 印  
Hiroshi TAKAHASHI

TRANSLATION